

追跡

— あの質問のゆくえ —

保育園保育料の負担軽減は

保育園に3人同時に入所の場合、3人目が無料だが、同時入所でない場合も無料にしてはどうか。
(平成24年12月議会)

当局答弁

第3子無料化を検討

県内の他市町村の動向、実施した場合の町財政への影響を確認して、第3子無料化の検討を進めてまいります。

どうなっている



さくらんぼ狩りを楽しむ
さくらの保育園児

第3子無料化の実施

子どもを産み育てやすい環境づくりとして、多子世帯の保育料負担軽減をはかるため、平成25年度より多子世帯子育て応援事業として中学3年生以下の子どもが3人以上いる家庭における第3子以降の子どもの保育料を無料にしています。平成25年度は児童数76人、保育料軽減額1861万8千円となりました。

● お手持ちのパソコンで議会中継をご覧ください。
● 録画でもご覧いただけます。

● 議会たよりのご意見・ご感想などを
議会事務局までお寄せください。

昨年11月、県天然記念物指定古典桜が薬師桜を含めて7本になり、数々の古木、巨木が点在する国内唯一の「古典桜の里」が自慢の町です。「この町はどこにいても、桜がたくさんあるんですね」観光客の方からも度々聞かれます。

さらに桜いっぱいの中をめぐりながら、「古典桜の里基金」を設けてみてはどうでしょうか。古典桜を守りながら、記念の植樹や、荒れた山林、山里への植林、又、桜に関連した事業等々。桜の原種といわれるエドヒガン桜の力をお借りし、100年計画のもと、この町ならではの事をすすめて欲しいと願っているところです。

(新野久子)

町民の声



八乙女ヶ丘のあじさい

広報委員

委員長 佐藤 京一
副委員長・編集長 山田 仁
委員 小口 尚司
委員 新野 いく子
委員 奥山 勝吉
印刷・長谷川印刷

《奥山》

昨年の集中豪雨の災害もまだまだ復旧に時間がかかるようですが、本格的な梅雨の時期が来ることに不安が募る思いであります。

議会たよりの「ありのままに」「わかりやすく」「住民とともに」が基本であり、当議会においても早くから本議会のインターネット中継で、議会の活動状況を広く公開している中、議会広報誌の役割として、議員活動や行政の情報公開の媒体としての重要性を再認識し、新しい事業等についての情報提供と皆様のご意見やご要望を広く公開するとともに、町民の方々と共につくる広報誌に取り組んでいきたいと思っております。

編集後記

